

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06－6208－9156） こども青少年局子育て支援部管理課（電話：06－6208－8112）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現、子育て支援と男女共同参画を一体的に推進する拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	複合施設としての他の施設との連携のもと、センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、相談事業、男女共同参画社会の形成と子育て支援に関する啓発、子育て支援に関する人材育成のための講習会、研修等の開催、その他市長が必要と認める事業
成果指標	講座受講者数／講座受講者満足度／情報・図書コーナー利用者数
数値目標	1,400人以上／80％以上／2,200人以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体（北） （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	講座受講者数	講座受講者満足度	情報・図書コーナー利用者数
数値目標	1,400人以上	80％以上	2,200人以上
年度実績	1,564人	96.2%	2,804人
達成率	111.7%	120.0%	127.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	29,946	18,471	11,475
稼働率	—	—	—

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	122,267,163	119,632,762	3,632,163	施設設備費の増額等のため
	計画	118,635,000	119,659,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,339,100	2,194,800	263,100	
	計画	2,076,000	2,058,000		
合計	実績	124,606,263	121,827,562	3,895,263	
	計画	120,711,000	121,717,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	73,511,377	63,052,874	16,111,377	一部の項目において人員増のため
	計画	57,400,000	57,400,000		
物件費	実績	65,990,598	62,638,717	4,755,598	施設管理費の増等のため
	計画	61,235,000	62,259,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	1,825,346	1,745,362	△ 250,654	
	計画	2,076,000	2,058,000		
合計	実績	141,327,321	127,436,953	20,616,321	
	計画	120,711,000	121,717,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
講座受講者数	111.7%	A	
講座受講者満足度	120.0%	S	
情報・図書コーナー利用者数	127.5%	S	

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	・施設・備品等の維持管理に関し、損傷等に係る本市への報告にあたっては、その具体的な内容の明示とともに改善提案がなされている。 ・親子、障がいのある方及び高齢の方並びに外国人の利用者への配慮・対応がなされている。
事業計画の実施状況	A	・保育室開放事業においては、新型コロナウイルス感染症に伴う制限の緩和をふまえて、7月以降は定員・利用時間の拡大を図り、入替時には毎回清掃・消毒作業を行うなど安全衛生管理の対策を講じながら実施した。利用者数は前年度より約266% (7,317人) 増加した。 ・子育て支援情報に関するホームページ「おおさか子育てネット」のリニューアルを行った。スマートフォン対応も行い、利用促進も図った。 ・情報・図書コーナー利用促進の取組として、施設の利用者層にあわせて絵本コーナーの設置や子育て支援者向けブックリストを作成したり、スタンプラリーや参加型ブックフェア等を開催した。 ・若い世代への情報提供の機会として新たにInstagramのアカウントを開設したところ、開設後約半年で300人超のフォロワーを獲得した。事業やこそっ建てに役立つ情報を積極的に発信した。 ・子育て層のライフスタイルの多様性に対応し、保育室開放の定員や利用時間を拡大し、仕事と子育ての両立をテーマにした小1の壁や育休復帰準備等のセミナーを企画・実施した。 ・子育て相談に寄せられる保育者の悩みやニーズを反映した不登校やネットトラブル等のテーマでセミナーを企画・実施した。
施設の有効利用	B	・地域団体・人材と共同したおはなし会やえほん展など、施設利用促進及び有効活用のための事業を積極的に展開した。 ・施策に関連する連絡会、研修会等の会場として活用・協力することで、出席者への積極的なPRを実施した。
社会的責任・市の施策との整合性	S	・インターンシップ、就労体験について、多くの教育機関から実習体験を受け入れを行うとともに、他都市の行政視察や子育て支援センター等の視察の対応を行った。 ・大阪市ファミリー・サポート・センタ-事業の提供会員を養成する講座を実施した。提供会員として活動するには2か年度以内に全科目を履修する必要がある、補講受講については各区子ども・子育てプラザでの受講者も連携して受け入れた。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・昨年度に引き続き、男子トイレ、女子トイレ、相談室、男性更衣室、女性更衣室、給湯室、東倉庫のLED化を図り、管理経費の削減と省エネ化を図った。 ・ コラボ型セミナーなど、施設機能を活かしながら、職員がコーディネート等を行い、施設・事業運営の一体化や効率化を図った。	B	・ 施設運営と保守業務の専門性を持つ事業体構成員の強みを活かして、効果的で効率的な維持管理を行った。

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和5年度実績】		
受講者満足度	(1) 95.6%（男女共同参画セミナー）	(2) 96.7%（子育て支援セミナー）
【参考：令和4年度実績】		
受講者満足度	(1) 96.0%（男女共同参画セミナー）	(2) 96.0%（子育て支援セミナー）

6 外部専門家意見

・ 全体的に、ニーズを企画に取り入れている工夫が見られた。 ・ ファミリー・サポート支援事業については、提供会員が少なく、高齢化してきている。地域活動したいけれどもファミサポのことを知らない人も多いのでは。提供会員を増やすために若年層の呼び込みや子育て関連の民間団体等と連携するなど周知活動が必要と考える。 ・ 昨今、男性の育児休業取得率を増やすために企業が男性の育児休業取得の取組みを強化しているが、取るだけ育休となっていたりする。今後は育休を取った父親を支援していくことが求められる。 ・ 外国人の子育て支援もこれからニーズが増えてくるように思う。多言語での読み聞かせなど、どのような支援が可能か、これからの子育ての方向性も考えて備えていっていただきたい。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	・全ての項目で目標値を上回った。
管理運営の履行状況	A	・引き続き、利用者や受講者の要望を把握し、課題分析し、利用促進に努めてもらいたい。 ・ファミリー・サポート支援事業については、引き続き提供会員の高齢化に対する対策について検討いただきたい。 ・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施していただきたい。 ・引き続き、他のクレオ大阪各館と連携し、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開していただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めていただきたい。
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）		
総合評価	A	・令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理を行っているとは評価できる。 ・引き続き、男女共同参画拠点施設、子育て活動支援拠点施設という機能を積極的に活かした一体的な事業展開に期待する。